

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公開番号】特開2015-69543(P2015-69543A)

【公開日】平成27年4月13日(2015.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-024

【出願番号】特願2013-205013(P2013-205013)

【国際特許分類】

G 06 Q 10/06 (2012.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 06 Q 10/06 1 2 0

G 06 F 13/00 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月14日(2017.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザから送信されたデータを取得するデータ取得手段と、

前記データ取得手段により取得したデータに含まれる情報に基づき、当該データをプロジェクトに対応付ける分類手段と、

前記分類手段により分類されたデータの数の時系列変化を認識可能に表示制御する表示制御手段と、

を備え、

前記表示制御手段は、さらに、前記データに含まれるキーワードに基づき、当該データに対応するプロジェクトの進捗に関する情報を認識可能に表示制御することを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】

前記分類手段により分類されたデータについて、各プロジェクト特有のキーワードを抽出する特徴語抽出手段と、

前記分類手段は、さらに、前記特徴語抽出手段により抽出された特徴語を含むデータを、当該プロジェクトに関するデータとして登録することを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

【請求項3】

プロジェクトが計画通りに進まない可能性を示唆するキーワードである炎上語と、当該炎上語の重みとを対応付けて記憶する炎上語記憶手段と、

前記炎上語記憶手段に記憶された炎上語と当該炎上語の重みとを用いて、前記取得手段により取得したデータの炎上度を算出する炎上度算出手段と、

をさらに備え、

前記表示制御手段は、前記炎上度算出手段により算出された炎上度が予め定められた値を超える場合に、プロジェクトが計画通りに進まない可能性がある旨の表示を制御することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理システム。

【請求項4】

前記データは電子メールであることを特徴とし、

前記プロジェクトと電子メールアドレスとが対応付けて登録されたプロジェクト設定データを記憶する記憶手段をさらに備え、

前記分類手段は、前記取得手段により取得したデータの送信先に、前記プロジェクトと対応付けられた電子メールアドレスが設定されている場合、当該電子メールを当該プロジェクトに関する電子メールとして分類することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理システム。

【請求項5】

前記特徴語抽出手段は、前記プロジェクトと対応付けて記憶されたメールアドレスに対して送信された電子メールに使われた固有名詞のうち、予め定められた数以上の電子メールに使われた固有名詞を特徴語として抽出することを特徴とする請求項4に記載の情報処理システム。

【請求項6】

ユーザから送信されたデータを取得するデータ取得工程と、

前記データ取得工程により取得したデータに含まれる情報に基づき、当該データをプロジェクトに対応付ける分類工程と、

前記分類工程により分類されたデータの数の時系列変化を認識可能に表示制御する表示制御工程と、

を備え、

前記表示制御工程は、さらに、前記データに含まれるキーワードに基づき、当該データに対応するプロジェクトの進捗に関する情報を認識可能に表示制御することを特徴とする情報処理方法。

【請求項7】

情報処理装置において実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

ユーザから送信されたデータを取得するデータ取得手段と、

前記データ取得手段により取得したデータに含まれる情報に基づき、当該データをプロジェクトに対応付ける分類手段と、

前記分類手段により分類されたデータの数の時系列変化を認識可能に表示制御する表示制御手段として機能させ、

前記表示制御手段を、さらに、前記データに含まれるキーワードに基づき、当該データに対応するプロジェクトの進捗に関する情報を認識可能に表示制御する手段として機能させるためのプログラム。